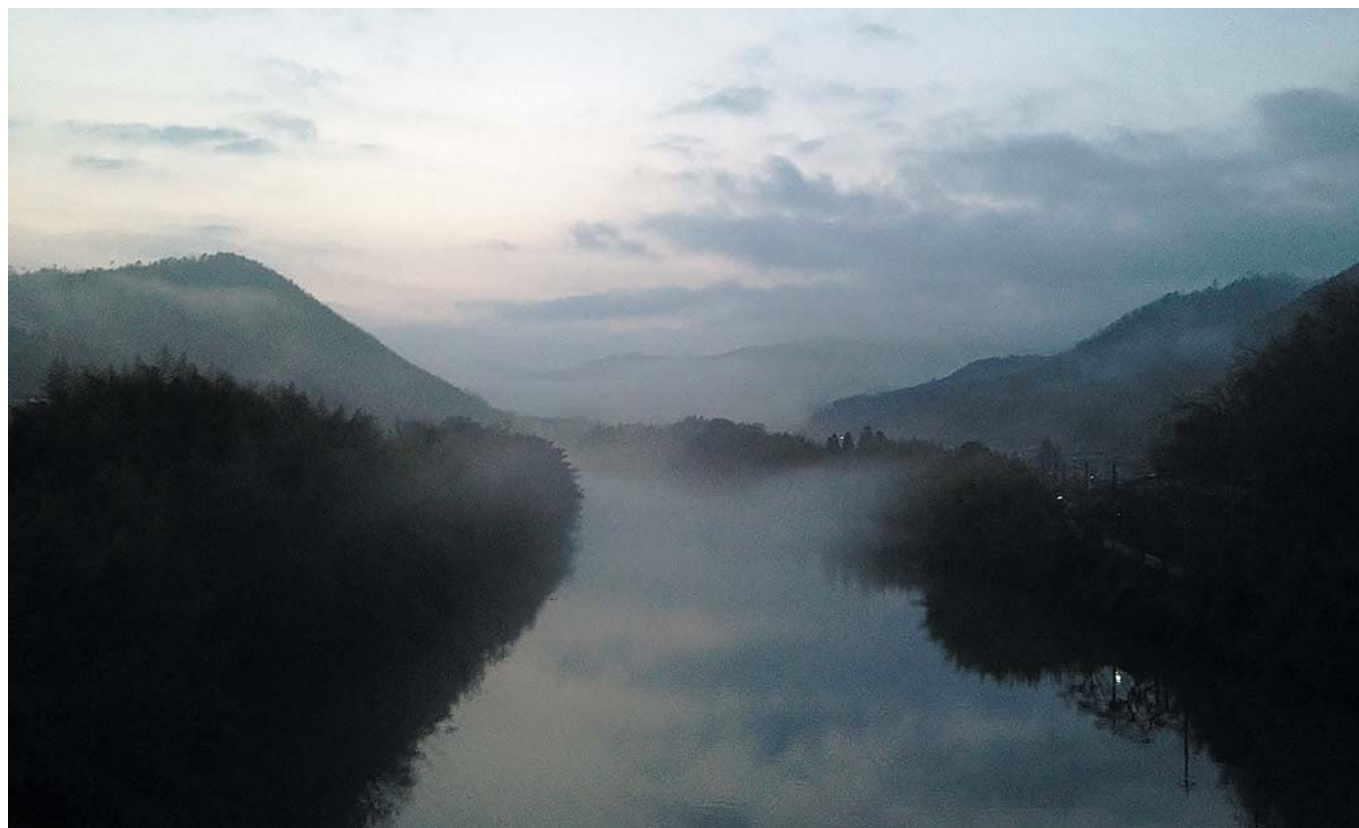


協立病院だより

No. 159
2013年5月1日
発行
京都協立病院
機関紙編集委員会



「朝霧に煙る由良川」 (撮影：高野俊二)

新院長あいさつ

カムバックサーモン「由良川に鮭よ帰れ」、 よろしくお願いします



4月から院長に就任しました門 祐輔（もんゆうすけ）と言います。私は1991年から97年まで6年間、駅前の旧綾部協立病院に務めました。その時は医局長という立場でしたが、大変な医師不足でした。そこで立てたのが「カムバックサーモン」作戦。若い医師を1年でも2年でも由良川（＝綾部）で勤務させれば、いずれ生まれ育ったところへ帰ってくるだろうと、毎年受け入れて地域医療に従事しながら勉強してもらいました。その伝統は連綿と受け継がれ約50人を受入れましたが、結果的に私が鮭として帰ってきたわけです。

以前は子供がまだ小さく、一家そろってお世話になりました。自然豊かな環境で3人の子供たちはたくましく育ち、京都市内へ移ってもかけっこは速く、足腰が丈夫に育ちました。その子供たちもみな大学生になり、妻は京都市内で常勤薬剤師として仕事をしていますので今回は単身赴任となりますが、今度は家族の「カムバックサーモン」を狙っています。

市立病院、開業医・介護事業所のみならずと一緒に、地域の健康を守るために全力を尽くしますので、どうかよろしく願います。

新任医師自己紹介



- ①氏名：草野 超夫
- ②大学：京都府立医科大学 2011卒
- ③趣味：囲碁将棋、サッカー、野球、読書
- ④略歴：京都民医連中央病院初期研修→後期研修医
- ⑤医師志望動機：父親が脳梗塞にて在宅介護がきっかけかもしれません
- ⑥大志：家庭医となり診療所ベースの医師養成、臨床研究機関をつくりたい
- ⑦協立病院での目標：survive
- ⑧将来の不安：職員忘年会で大ウケを取るよう業務命令を受けていること
- ⑨座右の銘：謙虚 他人皆師
患者さんやスタッフの方はもちろん、すべての方に愛と敬意を抱いて接していきたいと思っています。よろしくお願いします。

院長退任のびょうりく



病院長として8年余り、お世話になりました。

在任中は、予防―治療―リハビリ―介護、それぞれの場面のすべてをひとつの病院で担うことはできなくても、その時々、よりそって一緒にわたっていきける架け橋のような役割を果たせる病院にしたいと考えてまいりました。

また、私自身は、地域でも医療を担う医師・医療従事者の方々や介護職の方々の関係から多くのことを学ばせていただき、こんな私を頼っていたいただいた患者さん御家族、いつも温かく支援し励ましていただいた健康友の会の皆さんに育ててもらった年月でした。

退任にあたり、私がリハビリテーション科・神経内科・老年科の領域で師事してきた門祐輔先生に後任院長をお引き受けただけなこと、現病院開設後の多くの苦勞をともにしてきた玉木医師が引き続き重責をになってくれることは

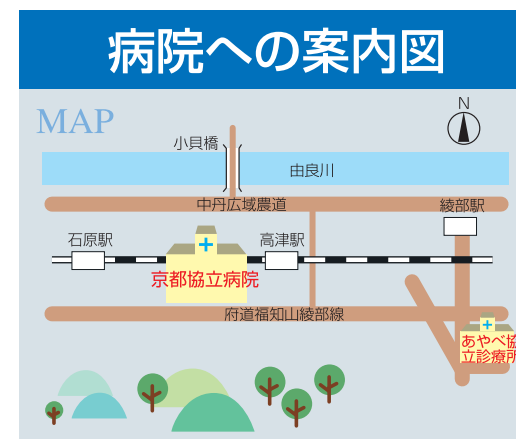


心強いばかりです。

私自身も当分の間綾部市内に在住し診療にも従事してまいりますので、引き続き協立病院と診療所・関連事業所ともどもよろしく願います。

小林 充

☎(代表) 42-0440 (小児科直通) 42-0025



■JR高津駅より徒歩10分 ■駐車場150台

公益社団法人 京都保健会
京都協立病院
〒623-0045
京都府綾部市高津町三反田1番地
TEL 0773-42-0440
FAX 0773-42-9459
ホームページ
<http://www.kyoto-kyoritu.org/>



ISO 9001 認証取得

待ち時間の短縮にご活用ください

診療順番表示(内科・外科のみ)が当院ホームページでご覧いただけます。

携帯からは下記URL、または右のQRコードを読みとってください。

<http://www.kyoto-kyoritu.org/i/shinsastu.php>

新入職員自己紹介

【4階病棟・看護師】



塩見 志穂

今年の4月からお世話になります塩見です。

中学校時代の入院がきっかけで看護師をめざして、やっと夢が叶ったと自分の中で思っているところです。

まだまだ未熟で、みなさんにはご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、日々学習し、患者さんの気持ちに寄り添えるような看護師をめざして頑張りますので、どうぞよろしく願います。



上田 めぐみ

新しい病院での勤務は慣れないことも多く、不安やとまどいもありま

すが、新たな環境で看護ができる喜びや今後の期待も感じております。これからたくさんの方の事を吸収して頑張っていきたいと思っております。

【リハビリテーション課・理学療法士】



川中 マリ子

今年度より京都協立病院にて、理学療法士として働かせていただくことになりました、川中マリ子です。社会人としてはまだまだ未熟者ですが、仕事とプライベートをしっかりと区別し、患者様から信頼される理学療法士になりたいと思っています。

こんな私ですが、どうぞよろしくお願い致します。

【医事課・事務職】



宮本 梨絵

入職三年目の宮本梨絵と申します。この度、まいづる協立診療所から、京都協立病院医事

課へ異動となりました。

まいづる協立診療所では、主に外来窓口や会計、健診の事務を担当していました。慣れるまで色々とお迷惑おかけすると思いますが、一日でも早く仕事を覚えて、みなさんのお力になれる様、頑張りたいと思います。よろしくお願

のご案内

「アイチケット」とは、インターネットを利用して診療の順番取りができるシステムです（希望時間の予約はできません）。また、現在の待ち時間を確認することができるため、それに合わせて来院していただくことで病院での待ち時間を減らすことができます。

是非、当院の小児科ホームページをご覧ください。



看護師をめざすみなさんへ



を踏み出されております。

また、看護学生さんの研修も企画し、学校で学んだことを実際の現場で体験を通して深めてもらっています。（写真はこの春の様子です）

6月には看護学校受験をきめておられる方を対象に、受験アドバイス会の企画を予定しています。ご案内はホームページ等でお知らせしますので、是非ご参加ください。

当院には、看護学生委員会というのがあります。目的は看護師を目指す高校生さんや看護学生さんの応援で、取組の一つは「高校生の一日看護体験」です。

看護協会主催で、府下の病院で「ふれあい看護体験」をしていますが、当院ではそれ以外に春に2日間、夏に2日間実施しています。年間50名前後が体験に来てくれます（2回3回と来られる方もあります）。進路決定に役立てていただいております、6～7割の方が看護学校に合格し夢への第一歩



【リハビリテーション課・言語聴覚士】



松本 如代

今年度から京都協立病院で働くこ

とになりました言語聴覚士の松本如代です。大学在学中に言語聴覚士の存在を知り、まさか自分が言語聴覚士になるとは思いませんでした。新社会人ですので、右も左も分かりませんが、優しい先輩や同期の方に支えていただきながら、頑張っております。

薬剤師・薬学生（薬学部在学）の方をご紹介ください



当院では、院内でお薬をお渡していますが、「もう少し詳しく薬の説明をうけたい」「往診をお願いしているが、薬も届けてほしい」など、外来・在宅で治療を続けておられる患者様からお薬に関する様々なご要望を伺っています。今後はそのようなお声にお応えできるよう薬剤師の体制を強めていきたいと考えています。

ご家族やご親戚、お知り合いの方で薬剤師資格をお持ちの方や、薬学生の方がおられましたら是非ご紹介ください。よろしく願い致します。

【お問合せ・連絡先】京都協立病院（担当・稲次）
TEL：0773-42-0440 FAX:0773-42-9459